

生 活

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 活動内容及び教材は、児童の身近な事象を取り上げ、具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるよう工夫されているか。
	(5) 具体的な活動や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づき、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されているか。
	(6) 入学当初において、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行うスタートカリキュラムが編成できるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 教科の特質に「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、構成となつて指す「人間像」の育成の</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物の継続的な飼育・栽培活動を繰り返し取り上げることで、生き物に親しみ、自然を大切にすることを養うことができるよう配慮されている。 自分と身近な人々や社会と具体的にかかわる活動を繰り返し設定することで、生活科の学びを実生活に生かすことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物の継続的な飼育・栽培活動を設定することで、生命の尊さに気付いたり、食について考えたりすることができるよう配慮されている。 校内はもとより、家庭、地域、公園、商店街などの多様な学習場面を設定することで、児童の創造性を高め、その場所や人の役割に気付くことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「あきをたのしもう」では、まず自然とたっぴりかかわるような構成にすることで、自然を愛する心情を育むことができるよう配慮されている。 身近な人々、社会及び自然とのかかわりをカードなどに記録していくことを重視することで、単元末において多様な表現でまとめ、振り返ることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然の観察や、自然を生かした遊びに関する資料を掲載することで、自然の不思議さに気づき、自然を大切にすることを養うことができるよう配慮されている。 「あしたへつなぐ自分たんけん」では、家族や身近な人々にインタビューしたり、自分の成長についてまとめたりする活動を設けることで、成長の喜びを実感できるよう配慮されている。
	<p>(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 昔から伝わる遊びや地域の行事、節気・節句の象徴などを掲載することで、日本の伝統や文化に親しむとともに、ふるさとへの行事や伝統への興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ふゆ・だいすき」では、「日本のたこ」の一つとして、本県の「はた」を紹介することで、本県の伝統や文化への興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「まちのきせつ」では、地域での伝統的な行事として、「のんこのこまつり」を掲載することで、ふるさとへの季節行事への興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「秋はどこにやってきた」では、様々な地域の暮らしや行事として、「長崎くんち」を紹介することで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた本県の伝統的な行事について興味・関心を高めることができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	信 教	光 村	啓林館
<p>1 上での特長</p> <p>教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る</p>	<p>(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「人間教育の目標」の達成に資する内容、構成となつてい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動物や植物との継続的なかわりを大切に単元構成とすることで、生き物への親しみをもち、生命を大切にしようとする態度を育てるよう配慮されている。 各単元において、学校や家庭で学習を振り返っている様子をイラストと吹き出しを用いて分かりやすく示すことで、周りの人々の温かな支えの中で成長している自分を実感できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物の飼育・栽培活動を繰り返し設定することで、生き物に親しみ、自然を大切にできる態度を養うことができるよう配慮されている。 「もっと やってみよう」では、児童にもっとやってほしいことを写真で複数示すことで、学びに向かう力を身に付けることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生き物の飼育活動が扱われており、命の尊さや生育環境に目を向けることで、命と適切にかかわることができるよう配慮されている。 1年間の活動を振り返る場面では、ほめたり、共感したりするなどの多様な学習活動を掲載することで、自分の成長に気付くとともに、互いを認め合うことができるよう配慮されている。
	<p>(2) ふるさとを深める学習に生かせる題材が扱われているか。</p> <p>ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> 端午の節句や七夕など日本に伝わる季節の行事、正月などの伝統行事に込められた人々の願いや思いを調べる活動を充実させることで、ふるさとでの伝統的な季節行事についても興味・関心をもたせることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「春・夏・秋・冬の生活」では、伝統的な遊びや各地の伝統行事を紹介することで、ふるさとでの行事や自然の様子にも興味・関心をもたせることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「春・夏・秋・冬だより」では、伝統的な遊びや各地の伝統行事に目を向けることで、ふるさとでの行事や自然の様子にも興味・関心をもたせることができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動や体験の過程において、写真や挿絵、吹き出しなどを例示することで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」など、学習活動に即した資料を掲載することで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物や花などの種類を豊富に紹介したり、育ち方を順序良く提示したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 巻末の資料では、生活に必要な習慣や技能について、整然とまとめて掲載することで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元が長期的に継続した活動として設定され、対象と繰り返しかかわり気付きを深めることで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 単元ごとに「やくそく」「ものしりノート」のコーナーを設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な写真や挿絵を掲載し、視覚的に活動のイメージをもたせることで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 巻末の資料は、生活に必要な習慣や技能を絵や文で示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を判断する力、活用する力、表現力等を課題として解決する能力を育成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「見付ける」「比べる」「たどる」など、気付いたことをもとに分析的に考えるための多様な学習活動例を、写真や挿絵、吹き出しなどで示すことで、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えさせるための投げかけを示し、考える時間を保障することで、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人の話や本、インターネットなど多様な情報を活用する場面を示すことで、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供が自分自身で考える場面と、先生が活動を価値付けながら導いている場面を豊富に例示することで、学びを深め、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度を育成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 思いや願いの実現に向けて粘り強く学習に取り組んでいる様子を、写真や挿絵、吹き出しなどで示すことで、主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元間のつながりにおいて、活動後の振り返りから、個々の思いや願いをもとに次の活動につながる流れにすることで、主体的に学習に取り組む態度を育成できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ものしりノート」「ものしり図かん」「学び方図かん」など資料を充実させることで、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を育成できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指でなぞったり、目でたどったりできる「はっけんロード」を掲載することで、学習課題を発見し、主体的に学習に取り組む態度を育成できるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	信 教	光 村	啓林館
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生き物や花などを写真や絵で掲載することで、意識して名前を覚えたり、育て方を理解したりするなど、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 日常生活に必要な習慣や技能についてイラストや文で示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な習慣や技能について写真や挿絵で学習活動の流れの中に見やすく提示することで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 巻末の資料は、教科書から切り離して、活動の中で活用できるようにすることで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣や生活技能、健康や安全などについて、イラストや言葉で分かりやすく提示するコーナーを設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 巻末の資料では、調べ方や記録の仕方などを示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を必要に応じて活用し、課題を解決する力、表現力等を育成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自らの課題をもって「調べ」「考え」「行い」「表現する」活動を配列することで、自ら問題を解決しながら思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「こんなこともいいよ。」「どうすればいい。」「と投げかけるコーナーを設定することで、自ら問題を解決しながら思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの気付いたことをもとに考える学習活動例を豊富に示すことで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で体験したことや調べたことについて振り返り、自分の成長について気付く場面を設定することで、主体的な学びが展開できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の声として、やってみようことや調べてみたいことなどを投げかけることで、興味・関心を高め、主体的な学びが展開できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末の「できるかな できたかな？」コーナーを設定し、学習を振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感させることで、主体的に学習に取り組む態度を育成できるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 活動的な内容及び教材は、児童の身体的な質を高めるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観察する時に大事なことや、ICT機器の効果的な活用を示した「かんさつずかん」を掲載することで、気付きの質を高めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動と表現活動が繰り返される構成にすることで、気付きの質を高めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の会話の中に活動や観察の視点を示すことで、気付きの質を高めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な問いを投げかける「はてな」のコーナーを設定することで、気付きの質を高めるよう工夫されている。
	<p>(5) 自然の活動や体験を通して、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様な表現活動や交流活動を写真や挿絵、吹き出しなどで示すことで、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校で活動したことを家族に伝え、家族とともに活動する場面を設定することで、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な活動の各場面で用いるカードに自己評価欄を設け自分自身を振り返ることができるようにすることで、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程の中で自分自身や自分の生活について考える学習活動を設けることで、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。
	<p>(6) 入学当初から、生活科を中心とした学習の指</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活科を中心に合科的・関連的な指導を行い、他教科等の学習に接続する姿を掲載した「つながるひろがる」を設けることで、各教科等の学びへと向かうスタートカリキュラムが実現できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 上巻冒頭に、スタートカリキュラムに配慮したページを設けることで、安心して学ぶことができる環境づくりになるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はじまるよ しょうがっこう」「がっこうたんけん」を設けることで、入学直後でも安心して学校生活を送ることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのポケット」では、生活科での学びを各教科等の内容で整理することで、生活科での学びを各教科の学習に生かすことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	信 教	光 村	啓林館
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 工夫された活動の質を高めるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しそうに活動する姿や感じたことを素直に表現している言葉を掲載することで、活動への意欲を喚起し、気付きの質を高めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっとやってみよう」では、異なった視点を示すことで、気付きの質を高めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して身近な人々、社会、自然とくり返しかわることのできる構成にすることで、気付きの質を高めるよう工夫されている。
	<p>(5) 自分自身や自分の生活について考えることができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動についての思いや願いを吹き出しや記録カードなどで掲載することで、自分自身や自分の生活について考えることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「たのしいまちにつなげよう」において、生活科の学びが日常生活につながる例を示すことで、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「ひろがるきもち」コーナーを設定し、生活科の学習が日常生活に広がる様子を例示することで、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。
	<p>(6) きょうと入るようになったり、生活科の学習が編成されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の総合的な学びが、生活科を中心に各教科等へ円滑に移行する様子を掲載することで、中学年以降の学習へと無理なく移行することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学当初だけではなく、その後の単元においても、幼児期の既習経験を想起する場面を設定することで、教科書を通して、幼児教育の成果を生かすよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上位学年の学習内容との関連を意図しながら本編の学習内容を設定することで、生活科の学習から中学年以降の学習へと無理なく移行することができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分量ともに分かりやすく、内容も豊かな記述内</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じて文字の大きさを変えたり、文節で改行したりすることで、読み取りやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年配当漢字に即した漢字を適宜使用し、カタカナや漢字に振り仮名を付すことで、読み取りやすいよう配慮されている。 	<p>発達段階に応じた文字量で、一文は短く簡潔な表現にすることで、読み取りやすいよう配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 具体的で簡潔な言葉で表現したり、発達段階に応じた文字量にしたりすることで、無理なく学習に取り組むことができるよう配慮されている。
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容と関連する学習効果に十分に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の表情豊かな写真や挿絵を掲載することで、活動への意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 白黒写真やビンゴカードを掲載することで、イメージをふくらませたり、楽しみながら学習を進めたりできるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童や動植物の生き生きとした活動や成長の様子をとらえた写真を掲載することで、活動意欲を引き出されるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の表情豊かな写真と、正確で資料性の高い動植物などのイラストを掲載することで、意欲や関心を促すよう配慮されている。
	<p>(3) レイアウトや紙質、製本等について、挿絵の活用や紙質、製本等について、適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子を見開きで掲載し、小単元名、手洗いマーク、やくそくなどを常に同じ位置に配置することで、誰にでも分かりやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各見開き内に具体的な課題の提示を行うことで、誰にでも分かりやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開き単位で本文を構成し、見開き右下に次の活動を示唆するイラストを掲載することで、活動の見通しを立てやすくなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やくそく」「ひんと」をページの右側に配置することで、大切な情報が一目で分かるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	信 教	光 村	啓林館
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、分量ともに分かりやすく、内容となっているか。豊かな記述内</p>	<ul style="list-style-type: none"> 縦書きで一文を短くしたり、吹き出しの中に簡潔な言葉で表現したりすることで、読み取りやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた文字量にしたり、吹き出しの中に短い一文を書いたりすることで、読み取りやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた文字量で、一文は短く簡潔な表現にすることで、読み取りやすいよう配慮されている。
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などを用いて、学習意欲を高めるか。学習効果に十分配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな風景写真やイラストを掲載することで、学習意欲や関心が引き出されるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節によって見られる動植物の写真カードを切り取って使えるようにすることで、教室以外の学習場所でも本物と見比べながら学習できるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 四季を感じる「びっくりずかん」に豊富な写真や資料を掲載することで、気付きや更なる学びのきっかけになるよう配慮されている。
	<p>(3) レイアウトや色彩、紙質、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等について適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 季節の変化を折り込み4ページを使って表現することで、四季の移り変わりについての関心を高められるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元に関する資料を豊富に収録した「ひろがるせいかつずかん」を分冊にすることで、必要な時にいつでも使えるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙面右下に、めくり言葉を掲載することで、活動が途切れることなく進んでいき、次の活動への意欲が高まるよう配慮されている。